

研究発表プログラム

留意事項

- (1) セッションタイトルの下に、コンビーナーを表示しています。
- (2) 発表 ID は、"セッション番号-発表番号"の形式で表示しています。
- (3) 発表 ID にアスタリスク(*)が付いている講演は、招待講演です。
- (4) 発表 ID に下線が付いている講演は、「若手優秀発表賞」の候補となる講演です。

	セッション名	口頭発表日 (会場)	ポスター 説明日
19F-01	熱帯の物理・化学・生物	26日 (第2)	26日
19F-02	沿岸域の海洋循環と物質循環	28日 (第2)	27日(P1-P5) 28日(P6-P11)
19F-03	極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究	28日 (第3-4)	28日
19F-04	数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測 ～海洋・海氷の役割～	27日 (第2)	27日
19F-05	中緯度海洋の果たす役割	28日 (第1)	27日(P1-P5) 28日(P6-P10)
19F-06	海洋と大気の力学	26日 (第1)	26日
19F-07	海洋酸性化と温暖化の生態系への影響評価	28日 (第5)	28日
19F-08	海洋における微量元素・同位体の生物地球化学 (SCOR-GEOTRACESジョイントセッション・英語セッション) Biogeochemistry of trace elements and isotopes in the ocean: from GEOSECS to GEOTRACES (SCOR-GEOTRACES Joint English Session)	26日 (第3)	26日
19F-09	海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題	27日 (第3)	28日 (P5-6のみ27日)
19F-10	海洋中における乱流混合の実態とその役割 －表層から中・深層、底層まで－	27日 (第1)	27日
19F-11	海洋物理一般	26日 (第4)	26日
19F-12	海洋化学一般	27日 (第3)	27日
19F-13	海洋生物一般	27日 (第4)	27日
19F-14	海洋科学総合	28日 (第5)	28日

			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9月25日 (水)	第1会場	メインホール					昼食	シンポジウム1: SCOR-海洋学会合同シンポジウム「日本の海洋科学：現在と将来」 Title: SCOR-OSJ Joint Symposium "Ocean Sciences in Japan: Present and Future"				ナイトセッション-4: 学生・若手研究者のための研究資金の獲得について			
	第2会場	201+202号室						シンポジウム3: 今後の黒潮と周辺海域の国際共同観測を考える				ナイトセッション-1: 軍事研究の情報交換/海洋科学研究者の立場について			
	第3会場	203号室						SCOR Meeting				幹事会			
	第4会場	204号室										沿岸海洋研究会			
	第5会場	特別会議室						沿岸海洋研究会事業部会							

			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
9月26日 (木)	第1会場	メインホール	19F-06 海洋と大気の力学				昼食	19F-06 海洋と大気の力学								
	第2会場	201+202号室	19F-01 熱帯の物理・化学・生物					ポスター立会説明 機器展示 (ホワイエ)	19F-01 熱帯の物理・化学・生物							
	第3会場	203号室	19F-08 海洋における微量元素・同位体の生物地球化学						19F-08 海洋における微量元素・同位体の生物地球化学							
	第4会場	204号室	19F-11 海洋物理一般						19F-11 海洋物理一般				評議員会			

イベント4: 海洋研究者の座談会 - 男女共同参画の現状と課題 -

			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20								
9月27日 (金)	第1会場	メインホール	19F-10 海洋中における乱流混合の実態				昼食	19F-10 海洋中における乱流混合の実態				授賞式・受賞記念講演 (第一会場・メインホール) 終了次第、メインホールにて若手懇談会を開催します											
	第2会場	201+202号室	19F-04 数ヶ月から数年スケール					19F-04 数ヶ月から数年スケール															
	第3会場	203号室	19F-12 海洋化学一般		19F-09 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題			ポスター立会説明 機器展示 (ホワイエ)								懇親会 (グラントプラザ)							
	第4会場	204号室	19F-13 海洋生物一般																	イベント2: 全球海洋観測システム (GOOS) に関連する情報を共有するための集会			
	第5会場	特別会議室																		広報委員会			

			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9月28日 (土)	第1会場	メインホール	19F-05 中精度海洋の果たす役割				昼食	19F-05 中精度海洋の果たす役割				ナイトセッション3: 海洋・水産分野への利用に向けたデータ同化と衛星観測 ナイトセッション2: 持続可能な開発のための国連海洋科学の10年(2021-2030)の準備状況と今後			
	第2会場	201+202号室	19F-02 沿岸域の海洋循環と物質循環					19F-02 沿岸域の海洋循環と物質循環							
	第3会場	203号室	19F-03 極域・寒冷域					19F-03 極域・寒冷域							
	第4会場	204号室						イベント1: 海洋教育特別ポスターイベント: 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題 (ホワイエ)							
	第5会場	特別会議室	19F-07 海洋酸性化と温暖化の生態系への影響評価					19F-14 海洋科学総合							

			8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9月29日 (日)	第3会場	203号室	シンポジウム4: 大型研究計画と海洋学会将来構想				シンポジウム4: 大型研究計画と海洋学会将来構想								
	第4会場	204号室	シンポジウム2: 沿岸海洋シンポジウム「変わりゆく海: 沿岸海域への温暖化の影響」				シンポジウム2: 沿岸海洋シンポジウム「変わりゆく海: 沿岸海域への温暖化の影響」								

9月26日 12:00~13:00: 三賞選考委員会 (3F控室2-3 (連結)), 論文賞選考委員会 (2F控室2), 環境科学賞選考委員会 (2F控室3)

9月28日 12:00~13:00: 教育問題研究会 (3F控室2-3 (連結))

9月28日 12:00~13:00: JO編集委員会 (2F控室2)

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

第1会場(メインホール)		第2会場(201+202号室)	
	<p>19F-06 海洋と大気の力学 尾形 友道 (JAMSTEC)・田村 仁 (港湾技術研)・ 相木 秀則 (名大)・三寺 史夫 (北大低温研)</p> <p>★座長 田中祐希 (東大院理)</p>		<p>19F-01 熱帯の物理・化学・生物 東塚 知己 (東大理)・升本 順夫 (東大理)・齊藤 宏明 (東大大海研)・ 本多 牧生 (JAMSTEC)・長谷川 拓也 (北大理)・ 名倉 元樹 (JAMSTEC)・時長 宏樹 (九大応力研)</p>
8:45	19F-06-1* 氷期における大西洋深層循環の数値シミュレーション ○岡頭(東大大気海洋研)		
9:05	19F-06-2 簡易気候モデルを用いた現在気候および氷期気候における大西洋子午面循環の 多重解構造の比較 ○安藤大悟(東大大気海洋研)・岡頭(東大大気海洋研)		
9:20	19F-06-3 温暖化予測シミュレーションに基づく黒潮-親潮混合域の春季基礎生産経年変動 推定 ○西川悠(JAMSTEC)・西川史朗(JAMSTEC)・若松剛(Nansen Environmental and Remote Sensing Center, Bjerknes Center for Climate Research)・石川洋一 (JAMSTEC)		
9:35	19F-06-4 Impact of ocean physics on marine ecosystem in the Kuroshio and Kuroshio Extension ○笹井義一(JAMSTEC)・本多牧生(JAMSTEC)・Eko Siswanto(JAMSTEC)・加藤彩愛 (東海大学)・植原量行(東海大学)・佐々木英治(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)		
9:50	19F-06-5 Impact of cyclonic eddy on phytoplankton phenology in the Kuroshio Extension region ○Eko Siswanto(海洋研究開発機構)・Yoshikazu Sasai(海洋研究開発機構)		
10:05	19F-06-6 海底圧力計による海洋内部擾乱の検出可能性について ○小松幸生(東大院新領域)・吉田聡(京大防災研)・有吉慶介(海洋研究開発機構)	10:10	<p>★座長 齊藤宏明 (東大大海研) 趣旨説明 (5分)</p>
10:20	19F-06-7 ひまわり8号海面水温場と画像相関法を用いた海面流速場推定の試み ○谷口直和(広島大学大学院工学研究科)・木田新一郎(九州大学応用力学研究所)・ 作野裕司(広島大学大学院工学研究科)・陸田秀実(広島大学大学院工学研究科)・ Syamusudin Fadli(インドネシア 技術評価応用序(BPPT))	10:15	19F-01-1 貧栄養海域における尿素と窒素栄養塩類の地理的変動 ○武田典子(海洋大)・橋濱史典(海洋大)・塩崎拓平(JAMSTEC)・佐藤拓哉(東大院農 学生命)・高橋一生(東大院農学生命)・安井沙織(海洋大)・神田穰太(海洋大)
10:35	19F-06-8 1km格子JCOPE-TDAの開発と評価 ○日原勉(海洋研究開発機構)・Sergey Varlamov(海洋研究開発機構)・宮澤泰正(海 洋研究開発機構)・美山透(海洋研究開発機構)・可知美佐子(宇宙航空研究開発機 構)・村上浩(宇宙航空研究開発機構)	10:30	19F-01-2 東部インド洋における燃焼起源有機物の分布と動態に関する研究 ○森雄太郎(北大環境)・山下洋平(北大環境)・小川浩史(東大大気海洋研)
10:50	19F-06-9 富山湾における寄り回り波の物理機構 ○田村仁(港湾空港技術研究所)・川口浩二(港湾空港技術研究所)・藤木峻(港湾空 港技術研究所)	10:45	19F-01-3 東部インド洋熱帯・亜熱帯外洋域における魚類マイクロネクトン群集の分布と 変動要因 ○長友佑太郎(東大院・農学生命)・佐藤拓哉(東大院・農学生命)・Zhou Fanyu(東 大・大気海洋研)・一戸凌(東大大気海洋研)・平井椋也(東大大気海洋研)・西部裕一 郎(東大大気海洋研)・橋濱史典(東京海洋大・海洋環境科学)・高橋一生(東大院・農
11:05	19F-06-10 KEOブイ海洋混合層内データにみられる散発的な低塩分シグナル ○亀山昂平(名古屋大学大学院)・相木秀則(名古屋大学宇宙地球環境研究所)	11:00	19F-01-4 東部インド洋における窒素固定活性の南北勾配 ○佐藤拓哉(東大院農学生命)・塩崎拓平(JAMSTEC)・橋濱史典(海洋大)・武田典子 (海洋大)・佐藤光秀(長崎大学院)・高橋一生(東大院農学生命)
11:20	19F-06-11 水面波との双方向相互作用によるLangmuir循環の自己強化機構 ○藤原泰(京都大学大学院)・吉川裕(京都大学大学院)	11:15	19F-01-5 Impacts of salinity variation on the upper ocean circulation during the positive Indian Ocean Dipole ○Shoichiro Kido(The University of Tokyo)・Tomoki Tozuka(The University of Tokyo)・Weiqing Han(University of Colorado Boulder)
11:35	19F-06-12 渦に捕捉されたsuper-inertialな内部波 ○伊藤薫(北海道大学)・中村知裕(北海道大学)	11:30	19F-01-6 スマトラ島南西沖で観測された塩分の成層下で発生する沿岸湧昇 ○堀井孝憲(海洋研究開発機構)・植木巖(海洋研究開発機構)・安藤健太郎(海洋研 究開発機構)
		11:45	19F-01-7 アラビア海西部のソマリア沖海域における夏季混合層水温の冷却機構 ○久住空広(東大院理)・木戸晶一郎(東大院理)・東塚知己(東大院理)・升本順夫(東 大院理)

9月26日(木) 午前

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第3会場(203号室)	開始時刻	第4会場(204号室)
	<p>19F-08 海洋における微量元素・同位体の生物地球化学 Biogeochemistry of trace elements and isotopes in the ocean: from GEOSECS to GEOTRACES (SCOR-GEOTRACES Joint English Session) 張 勁 (富山大理工)・小畑元 (東大大海研)・熊本雄一郎 (JAMSTEC)</p> <p>★座長 張 勁 (富山大理工) Introduction (5 min)</p>		<p>19F-11 海洋物理一般 プログラム編成委員会</p>
9:00			
9:05	<p>19F-08-1* WOCE - CLIVAR - GO-SHIP ○深澤理郎(海洋研究開発機構)</p>		
9:30	<p>19F-08-2* Tidbits of JGOFS (JGOFSの華) ○陳鎮東(中山大学海洋科学系)</p>	9:30	<p>19F-11-1 AMSRシリーズで観測された海上風速データの長期安定性について ○江潮直人(北海道大学)</p>
9:55	<p>19F-08-3 Comparability of nutrients data and nutrients Certified Reference Materials ○Michio Aoyama(RIGC, JAMSTEC)</p>	9:45	<p>19F-11-2 全球海面熱フラックスの評価: 海面熱フラックスのパラドックス ○富田裕之(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・榎田邦夫(東海大学海洋学部)・久保田雅久(東海大学海洋研究所)・日原勉(JAMSTEC APL)</p>
10:10	<p>19F-08-4 Use of man-made geochemical transient tracers in the past several decades ○渡辺豊(北大院地球環境)・佐々木健一(JAMSTEC)</p>	10:00	<p>19F-11-3 収支解析に資する海洋データ同化システム ○大石俊(名古屋大学)・日原勉(JAMSTEC)・相木秀則(名古屋大学)・石坂丞二(名古屋大学)・宮澤泰正(JAMSTEC)・可知美佐子(JAXA)</p>
	<p>10:25-10:40 (休憩) ★座長 小畑元 (東大大海研)</p>	10:15	<p>19F-11-4 新型衛星高度計データを模した潮汐観測システムシミュレーション実験 ○Jiangwei Cao(九州大学総合理科学府)・Naoki Hirose(九大応力研)・Osamu Isoguchi(リモートセンシング技術センター)</p>
10:40	<p>19F-08-5 Radiocarbon in the deep water and implications for large-scale circulation ○熊本雄一郎(海洋研究開発機構)</p>	10:30	<p>19F-11-5 現実の航空機位置データに基づく津波波形インバージョン ○丹羽淑博(東大海洋教育センター)・広部智之(日本気象協会)・早稲田卓爾(東大新領域)・日比谷紀之(東大理)</p>
10:55	<p>19F-08-6* US GEOTRACES inception, strategy and outcomes ○Mariko Hatta(University of Hawaii)・Christopher Measures(University of Hawaii)・Robert Anderson(Lamont-Doherty Earth Observatory of Columbia University)・William Jenkins(Woods Hole Oceanographic Institution)</p>	10:45	<p>19F-11-6 黒潮大蛇行期における東海沖黒潮内側域冷水滴の構造と時間経過 ○清水勇吾(水研機構中央水研)・伊藤大樹(水研機構中央水研)・源藤聡(水研機構中央水研)・日下彰(水研機構中央水研)・安倍大介(水研機構中央水研)・日高清隆(水研機構中央水研)</p>
11:10	<p>19F-08-7 Dissolved iron distribution in the subarctic Pacific ○Jun Nishioka(Hokkaido University, ILTS)・Hajime Obata(The University of Tokyo, AORI)</p>		
11:25	<p>19F-08-8 Distribution of lead isotopes in the North Pacific ○則末和宏(新潟大学)・小畑元(東大大海研)・蒲生俊敏(東京大学)・エドワードポイル(マサチューセッツ工科大学)</p>	11:00	<p>★座長 柴野良太 (NPEC) 19F-11-7 本州南岸の水位変動 ○寄高博行(高知大学黒潮圏)</p>
11:40	<p>19F-08-9 Nickel and Copper Isotopes in Sinking Particles in the Northern South China Sea ○高野祥太郎(京都大学化学研究所)・宗林由樹(京都大学化学研究所)・Wen Hsuan Liao(Research Center for Environmental Changes, Academia Sinica)・Tung-Yuan Ho(Research Center for Environmental Changes, Academia Sinica)</p>	11:15	<p>19F-11-8 沖縄本島周辺海域におけるラグランジュ粒子追跡によるサンゴ浮遊幼生のコネクティビティ数値解析 ○内山雄介(神戸大学大学院)・小谷蓮千花(神戸大学大学院)・宮川真(神戸大学大学院)</p>

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場(メインホール)	開始時刻	第2会場(201+202号室)
	<p>19F-06 海洋と大気力学 尾形友道 (JAMSTEC)・田村仁 (港湾技術研)・相木秀則 (名大)・三寺史夫 (北大低温研)</p> <p>★座長 尾形友道 (JAMSTEC)</p>		<p>19F-01 熱帯の物理・化学・生物 東塚知己 (東大理)・升本順夫 (東大理)・齊藤宏明 (東大大海研)・本多 牧生 (JAMSTEC)・長谷川拓也 (北大理)・名倉元樹 (JAMSTEC)・時長 宏樹 (九大応力研)</p> <p>★座長 東塚知己 (東大理)</p>
14:30	<p>19F-06-13 夏季の宗谷暖流が細く明瞭な流動構造を維持するメカニズム ○唐木達郎(水産研究機構 北海道区水産研究所)・三寺史夫(北大低温研)・木田新一郎(九大応力研)</p>	14:30	<p>19F-01-8 熱帯太平洋からの海洋波動の伝播がニンガルー・ニーニョ現象の非対称性に与える影響について ○楠秀大(東大院理)・木戸星一郎(東大院理)・東塚知己(東大院理)</p>
14:45	<p>19F-06-14 Rossby Waves in the Kuril Basin inferred from Sea Surface Height anomaly ○Mensah Vigan(北大低温研)・Kay. I Ohshima(北大低温研)</p>	14:45	<p>19F-01-9 局所増幅過程に着目したベンゲラ・ニーニョ現象の形成メカニズム 小林諒(東大院理)・東塚知己(東大院理)</p>
15:00	<p>19F-06-15 階段型地形による渦対の形成に関する研究 ○竹内猛晶(北大院)・久保川厚(北大院)</p>	15:00	<p>19F-01-10* 季節風から年周期表層波動へのエネルギー入力の見積もり ○相木秀則(名大宇宙地球環境研究所)</p> <p>★座長 升本順夫 (東大理)</p>
15:15	<p>19F-06-16 ローレンツ・ダイアグラムの修正とその物理的解釈 ○松田拓朗(東大院)・升本順夫(東大院)</p>	15:15	<p>19F-01-11 強いエルニーニョ現象に伴う海洋表層波動の役割の解析 ○志村貴寛(名大環境学研究所)・相木秀則(名大宇宙地球環境研究所)</p>
15:30	<p>19F-06-17 ガンジス・ブラマプトラ川からベンガル湾への淡水流出過程 ○木田新一郎(九州大学)・山崎大(東京大学)</p> <p>★座長 杉本憲彦 (慶應大)</p>	15:30	<p>19F-01-12 Remote and local atmospheric influences on South China Sea winter cold tongue interannual variability ○Marvin Xiang Ce Seow(Graduate School of Science, The University of Tokyo)・Yushi Morioka(JAMSTEC)・Tomoki Tozuka(Graduate School of Science, The University of Tokyo)</p>
15:45	<p>19F-06-18 潮汐混合によるインドネシア通過流への影響 ○城山航基(九大院)・木田新一郎(九大応力研)・佐々木英治(海洋研究開発機構・アプリケーションラボ)・古恵亮(海洋研究開発機構・アプリケーションラボ)</p>	15:45	<p>19F-01-13 異常計測値の発生を抑制した、セルベス海のJason-2データ; 直下型海面高度計の計測アルゴリズムの改良 ○市川香(九大応力研)・XF Wang(大連海洋大)・DG Wei(国家海洋局大連海洋監視センター)</p>
16:00	<p>19F-06-19 新しい診断手法による赤道インド洋の季節内波動のエネルギー経路同定 ○尾形友道(JAMSTEC)・相木秀則(名大ISEE)</p>		
16:15	<p>19F-06-20* 赤道波擾乱における湿潤静的エネルギーの維持・減衰メカニズム ○安永数明(富山大学)</p>		
16:35	<p>19F-06-21 中緯度海洋前線帯上の局所的大気子午面循環 ○西井和晃(三重大学)・田口文明(富山大学)・中村尚(東京大学)</p>		
16:50	<p>19F-06-22 温位座標に基づく大気エネルギーサイクルの将来変化 ○菅野湧貴(名古屋大学)・岩崎俊樹(東北大学)</p>		
17:05	<p>19F-06-23 寒気質量の蓄積・放出と大気ブロッキング発生頻度との関係 ○山崎哲(海洋研究開発機構)・菅野湧貴(名古屋大学)</p>		
17:20	<p>19F-06-24 内部重力波およびロスビー波の3次元伝播を記述する波活動度フラックスについて ○木下武也(海洋研究開発機構)</p>		

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第3会場(203号室)	開始時刻	第4会場(204号室)
	<p>19F-08 海洋における微量元素・同位体の生物地球化学 Biogeochemistry of trace elements and isotopes in the ocean: from GEOSECS to GEOTRACES (SCOR-GEOTRACES Joint English Session) 張 勁(富山大理工)・小畑元(東大大海研)・熊本雄一郎(JAMSTEC) ★座長 熊本雄一郎(JAMSTEC)</p>		<p>19F-11 海洋物理一般 プログラム編成委員会</p>
14:30	<p>19F-08-10 Dissolved organic carbon in the Indian Ocean ○重光雅仁(海洋研究開発機構)・吉川知里(海洋研究開発機構)・脇田昌英(海洋研究開発機構)・村田昌彦(海洋研究開発機構)</p>	14:30	<p>19F-11-9 水温の南北非対称性が底・深層水の形成と分布に与える影響 ○高橋武志(バシフィックコンサルタンツ株式会社)・秋友和典(京大院理)</p>
14:45	<p>19F-08-11* Barium Isotope Geochemistry in a Large Estuarine System: the Pearl River Estuary, China ○Zhimian Cao(Xiamen University)</p>	14:45	<p>19F-11-10 巨大係留系で捉えた南大洋子午面循環の構造について ○北出裕二郎(東京海洋大学)・溝端浩平(東京海洋大学)・程豊巧(上海海洋大学)・嶋田啓貴(東京海洋大学)・青木茂(北海道大学)</p>
15:05	<p>19F-08-12 Exploring marine biogeochemistry of molybdenum and tungsten Makoto Tsujisaka(Kyoto University)・Yuta Fujiwara(Kyoto University)・Ayumi Nagae(Kyoto University)・○Yoshiki Sohrin(Kyoto University)・Masafumi Murayama(Kochi University)・Gurumurthy Gundiga Puttojirao(Birbal Sahni Institute of Paleoscience, India)</p>	15:00	<p>19F-11-11 グリーンランド北西部ボードインフィヨルドにおける氷河近傍での係留観測 ○藤支良貴(北大低温研)・北大院環境・深町康(北大北極セ)・北大北極グローバルステーション)・漢那直也(北大北極セ)・杉山慎(北大低温研)・北大北極セ)</p>
15:20	<p>19F-08-13* Dissolved Nd isotope ratios along the GEOTRACES Eastern Pacific Zonal Transect ○Chandranath Basak(University of Delaware)・Yingzhe Wu(Lamont-Doherty Earth Observatory of Columbia University)・Jesse M. Muratli(GRC Geoci)・Steven L. Goldstein(Lamont-Doherty Earth Observatory of Columbia University)・Brian A. Haley(Oregon State University)・Leopoldo D. Pena(GRC Geoci)・Louise Bolge(Lamont-Doherty Earth Observatory of Columbia University)</p>	15:15	<p>19F-11-12 確率分布関数ボックスモデルによる北極海表層の水塊分布再現 ○池田元美(北海道大学)</p>
15:40	<p>19F-08-14 Tectonically induced formation of the semi-closed Japan Sea inferred from Nd isotopes ○Keiji Horikawa(University of Toyama)・Yukiko Kozaka(University of Toyama)・Yoshihiro Asahara(Nagoya University)・Hiroshi Amakawa(JAMSTEC)・Yusuke Okazaki(Kyushu University) 15:55-16:10 (休憩) ★座長 宗林由樹(京都大学)</p>	15:30	<p>19F-11-13 台風通過後の東シナ海陸棚縁での慣性振動周期変動の強化 ○森本昭彦(愛媛大学)・矢田周平(愛媛大学)・相木秀則(名古屋大学)・吉岡真由美(名古屋大学)・瀧川哲太郎(長崎大学)</p>
16:10	<p>19F-08-15 Distribution and geochemical cycles of Pt in Ariake Sea, Japan ○眞塩麻彩実(金沢大学)・谷村泰城(金沢大学)・長谷川浩(金沢大学)・牧輝弥(金沢大学)・武田重信(長崎大学)・小畑元(東大大海研)</p>	15:45	<p>19F-11-14 冷水渦上の軸対称振動について ○板野稔久(防衛大学校)</p>
16:25	<p>19F-08-16 Stimulated phosphorus utilization of microbes by zinc and iron addition in the western North Pacific ○Tamaha Yamaguchi(National Research Institute of Fisheries Science)・Kazutaka Takahashi(Department of Aquatic Bioscience, The University of Tokyo)・Mitsuhide Sato(Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University)・Ken Furuya(Graduate School of Engineering, Soka University)</p>	16:00	<p>19F-11-15 河川プリュームバルジのバルーニングに関する水槽実験および数値実験 ○藤田信輔(九大院)・磯辺篤彦(九大応力研)</p>
16:40	<p>19F-08-17 Global biogeography of giant viruses highlights their interplay with eukaryotic community ○Hisashi Endo(Kyoto University)・Yanze Li(Kyoto University)・Romain Blanc-Mathieu(Kyoto University)・Hiroyuki Ogata(Kyoto University)</p>	16:15	<p>19F-11-16 屈折率密度センサーの開発 ○内田裕(海洋研究開発機構)・菊川洋平(産総研)・前田洋作(海洋研究開発機構)</p>
16:55	Closing		

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場(メインホール)
	19F-10 海洋中における乱流混合の実態とその役割 - 表層から中・深層、底層まで - 田中 祐希 (東大理)・永井平 (東大理)・田中 雄大 (水研機構)・ 日比谷 紀之 (東大理)
9:00	★座長 田中雄大 (東大理) <u>19F-10-1</u> 二重拡散対流と密度逆転: CTD搭載型FP07による観測 ○田中衛(東大大気海洋研)・安田一郎(東大大気海洋研)・吉田次郎(東大大気海洋研)・李根涼(東大大気海洋研)・後藤恭敬(気象庁)・田中雄大(東北水研)
9:15	19F-10-2 水温と塩分の微細構造の形成機構 再考 その2 対流、渦からの内部重力波の発生と伝播 ○今泉孝男(気象庁)
9:30	19F-10-3 Lagrange粒子追跡モデルを用いた黒潮流域における物質輸送及び拡散の評価 ○木村和久(茨城大学)・増永英治(茨城大学)・小沼大地(港湾空港技術研究所)・内山雄介(神戸大学)
9:45	19F-10-4 三陸沿岸海域における多層水塊構造と乱流混合過程 ○増永英治(茨城大学)・伊藤幸彦(東大大海研)・永田俊(東大大海研)
10:00	19F-10-5 内部波の局所不安定による乱流励起の直接数値シミュレーション ○大貫陽平(九大応力研)・Sylvain Joubaud(ENS de Lyon)・Thierry Dauxois(ENS de Lyon)
10:15	19F-10-6 Trapped coreを持つ鉛直第二モードの非線形内部重力波の観測 ○遠藤貴洋(九州大学応用力学研究所)・堤英輔(東京大学大気海洋研究所)・松野健(九州大学応用力学研究所)・Chang-Su Hong(Korea Institute of Ocean Science and Technology)・Gyu-Nam Baek(Korea Institute of Ocean Science and Technology)・Jae Hak Lee(Korea Institute of Ocean Science and Technology)・Ming-Huei Chang(国立台湾大学海洋研究所)・Yiing Jang Yang(国立台湾大学海洋研究所)
10:30	★座長 永井平 (東大理) <u>19F-10-7</u> Estimates of wind-induced near-inertial energy penetrating down into the deep ocean ○Aiqi Zhang(The University of Tokyo)・Yuki Tanaka(The University of Tokyo)・Toshiyuki Hibiyu(The University of Tokyo)
10:45	<u>19F-10-8</u> 南極周極流域で観測された内部波スペクトルの"hump"について ○高橋杏(東大大学院)・日比谷紀之(東大大学院)
11:00	19F-10-9 深海乱流強度の時空間変化に関するVMP-Xを用いた観測的研究 ○柳町隆裕(東大大学院)・日比谷紀之(東大大学院)
11:15	19F-10-10 深海底凹凸地形上で励起される潮汐混合のパラメタリゼーション ○日比谷紀之(東大大学院)
11:30	19F-10-11 仮想トレーサー実験による太平洋中深層循環の解明 ○川崎高雄(東大大海研)・羽角博康(東大大海研)
11:45	19F-10-12 鉛直混合と子午面循環の力学的関係 ○吉川裕(京大理)・川崎高雄(東大大海研)・羽角博康(東大大海研)

開始時刻	第2会場(201+202号室)
	19F-04 数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測～海洋・海水の役割～ 土井 威志 (JAMSTEC)・豊田 隆寛 (気象研究所)・中野 拓也 (水研機構)
	★座長 土井威志 (JAMSTEC)
8:30	19F-04-1* 日本沿岸への適用を目的としたCMIP5大気外力による海洋将来予測データセットの構築 ○西川史朗(海洋研究開発機構)・若松剛(NERSC/BCCR)・石川洋一(海洋研究開発機構)・石崎廣(海洋研究開発機構)
8:45	19F-04-2 SI-CAT海洋プロダクトに基づく日本周辺海況の将来予測 ○山中吾郎(気象研究所)・中野英之(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・辻野博之(気象研究所)・西川史朗(海洋研究開発機構)・若松剛(NERSC, BCCR)・石川洋一(海洋研究開発機構)
8:59	19F-04-3 日本海深層における溶存酸素濃度の将来予測 ○高山勝巳(九州大学)・広瀬直毅(九州大学)・吉田尚都(NPEC)
9:13	19F-04-4 MOAA GPVを用いた等密度層の貯熱量の時空間変化について ○植原量行(東海大学)・谷本陽一(北海道大学)・細田滋毅(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)・時長宏樹(九州大学)・富田裕之(名古屋大学)
9:27	19F-04-5 CMIP5モデルにおけるユーラシア・テレコネクションパターン ○吉田裕(北海道大学大学院理学院)・見延庄士郎(北大院理)
9:41	<u>19F-04-6</u> 北大西洋における溶存酸素量の変動とその要因 ○寺嶋雄志(北海道大学大学院理学院)・見延庄士郎(北大院理) 9:55-10:05 (休憩)
10:06	★座長 豊田隆寛 (気象研究所) 19F-04-7 地球システムモデルにおける北極域の気温変化と海水変動 ○相澤拓郎(東京大学)・石井正好(気象研究所)・行本誠史(気象研究所)・羽角博康(東京大学)
10:19	19F-04-8 Self-sustainableなチュクテ海の海水の穴(warm hole)は中緯度寒波頻発時代へのレジームシフトを促す ○立花義裕(三重大学)・小松謙介(三重大学)・安藤雄太(三重大学)・太田圭祐(三重大学)・V. A. Alexeev(University of Alaska)・L. Cai(University of Alaska)
10:33	19F-04-9 海水速度データを利用した北極海モデリングの改善 ○豊田隆寛(気象庁 気象研究所)・木村訓明(東大大気海洋研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・辻野博之(気象研究所)・中野英之(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)
11:47	19F-04-10 20世紀南大洋における海洋・海水・棚氷底面融解に関する数値モデリング ○草原和弥(海洋研究開発機構)
11:01	19F-04-11 Decadal sea-ice variability in the Weddell Sea simulated by the SINTEX-F2 ○森崎優志(海洋研究開発機構)・Thomas L. Delworth(NOAA/GFDL)・Liping Zhang(NOAA/GFDL)・Swadhin K. Behera(海洋研究開発機構)
11:15	<u>19F-04-12</u> 大気海洋結合モデルにおける海洋高解像度化のアラビア海への影響 ○山上通航(東大大気海洋研究所)・渡部雅浩(東大大気海洋研究所)・建部洋晶(海洋研究開発機構)
11:29	19F-04-13 気象研究所共用海洋モデル(MRI.COM)の時間積分スキーム更新 ○中野英之(気象研究所)・辻野博之(気象研究所)・坂本圭(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)
11:43	19F-04-14 西風バースト/東風サージの発生を確率過程として考慮したエルニーニョ現象予測と自信過剰問題 ○土井威志(JAMSTEC)・Swadhin Behera(JAMSTEC)・山形俊男(JAMSTEC)
11:57	まとめ

9月27日(金) 午前

開始時刻	第3会場(203号室)	開始時刻	第4会場(204号室)
	19F-12 海洋化学一般 プログラム編成委員会		19F-13 海洋生物一般 プログラム編成委員会
	★座長 角皆潤 (名大)		★座長 筒井英人(長崎大学)
9:00	19F-12-1 黒潮大蛇行期における夏季黒潮内側域のpCO ₂ 空間変動 ○小笠恒夫(水研機構)・伊藤大樹(水研機構)・小杉如央(気象研究所)・中岡慎一郎(国立環境研究所)	9:30	19F-13-1 日本の周辺海域に分布する珪藻の指標性について ○渡辺剛(東北区水産研究所)・田所和明(東北区水産研究所)・宮本洋臣(東北区水産研究所)・永井直樹(気象庁海洋部)・黒田一紀(東北区水産研究所)
9:15	19F-12-2 航海間の交点内における不確かさの評価：GND13作成時のファクターの不確かさ ○青山道夫(海洋研究開発機構)	9:45	19F-13-2 秋季-初冬季のインド洋東部海域におけるピコ・ナノ植物プランクトンの鉛直分布構造 ○佐藤光秀(長崎大学)・武田重信(長崎大学)・齊藤宏明(東京大学)・Hongbin Liu(香港科技大学)
9:30	19F-12-3 長光路吸光度分析法を用いた全粒状窒素・リンの高感度計測 ○佐々木里樹(海洋大)・橋濱史典(海洋大)・武田典子(海洋大)・神田敬太(海洋大)	10:00	19F-13-3 東シナ海黒潮における微小動物プランクトンのエネルギー源と摂餌圧 ○金山健(鹿大院水産)・小針統(鹿大院水産)・加留福太郎(鹿大院水産)・鈴木光次(北大院地球環境)・吉江直樹(愛媛大学沿岸環境科学センター)・久米元(鹿大院水産)
9:45	19F-12-4 大気・下層・水平方向への酸素フラックスから定量した亜熱帯貧栄養域の新生産 ○小杉如央(気象研)・石井雅男(気象研)・笹野大輔(気象庁)・安田一郎(東大気海洋研)	10:15	19F-13-4 東シナ海黒潮におけるメソ動物プランクトンのエネルギー源と摂餌圧 ○加留福太郎(鹿大院水産)・小針統(鹿大院水産)・金山健(鹿大院水産)・鈴木光次(北大院地球環境)・吉江直樹(愛媛大沿岸セ)・久米元(鹿大院水産)
10:00	19F-12-5 微量安定同位体トレーサーを利用した海洋における水柱酸素消費速度定量 ○角皆潤(名古屋大学大学院)・柏木章吾(名古屋大学大学院)・伊藤昌雅(名古屋大学大学院)・中川書子(名古屋大学大学院)・鋤柄千穂(名古屋大学大学院)・水野宏香(名古屋大学大学院)		
10:15	19F-12-5 ¹⁵ Nアンモニア添加培養に基づく水柱硝化速度の鉛直分布定量 ○水野宏香(名古屋大学大学院)・角皆潤(名古屋大学大学院)・中川書子(名古屋大学大学院)・伊藤昌雅(名古屋大学大学院)		
	19F-09 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題 丹羽 淑博 (東大海洋教育センター、教育問題研究会) ・市川 洋 (教育問題研究会) ・ 齋田 邦夫 (東海大学、教育問題研究会) ・須賀 利雄 (東北大学、教育問題研究会)		
	★座長 丹羽淑博 (東大・海洋教育センター)	10:30	19F-13-5 駿河湾沖合域における枝角類各種の出現パターンと体長組成 ○剣持瑛行(東海大学大学院)・松浦弘行(東海大学)・吉川尚(東海大学)・宗林留美(静岡大学)・大林由美子(愛媛大学)・西川淳(東海大学)
10:45	19F-09-1 新学習指導要領に対応した海洋教育プログラムの構築と推進 ○和田薫(明星大学理工学部)・石丸 隆(東京海洋大学)・大森紀幸(八王子市立由井中学校)・宮嶋隆行(葛西臨海・環境教育フォーラム)	10:45	19F-13-6 DNAメタバーコーディングによる本州沖合域での尾虫類の食性分析 ○日高清隆(水研機構)・平井博也(東大気海洋研究所)・鈴木光次(北大院地球環境)・瀬藤聡(水研機構)・清水勇吾(水研機構)
11:00	19F-09-2 海の無い地域における海洋教育プログラム - 曝気槽の微生物観察と川と海とのつながり ○石丸隆(東京海洋大学)・宮嶋隆行(葛西臨海・環境教育フォーラム)・和田薫(明星大学)	11:00	19F-13-7 ナマコ骨片中のMg/Ca比による水温プロキシ ○筒井英人(長崎大学)・遠藤光(鹿児島大学)・石崎学(山形大学)・西田史朗(奈良教育大学)・R.W.ジョルダン(山形大学)
11:15	19F-09-3 海洋科学に関する教員免許状更新講習担当講師への誘い ○市川洋(教育問題研究会)・丹羽淑博(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター)		
11:30	19F-09-4 我が国における海洋医療教育としてのICMM(Immediate Care of Marine Medicine)の開発と展開 ○奥寺敬(富山大学大学院)・若杉雅浩(富山大学大学院)・伊井みず穂(富山大学大学院)・安田智美(富山大学大学院)・奈良唯唯子(神奈川工科大学)・橋本真由美(神奈川工科大学)		

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場(メインホール)
	<p>19F-05 中緯度海洋の果たす役割 佐々木克徳(北大理)・東塚知己(東大理)・杉本周作(東北大)・大石俊(名大)</p>
9:00	<p>★座長 佐々木克徳(北海道大) 19F-05-1* 遠隔強制による過去40年間の亜熱帯モード水の物理・生物地球化学的十年規模変動 ○岡英太郎(東大大気海洋研)・山田広大(東大大気海洋研)・笹野大輔(気象庁/気象研)・延与和敬(気象庁)・中野俊也(気象庁)・石井雅男(気象研/気象庁)</p>
9:15	<p>19F-05-2 東経138度定線観測で捉えられた中規模以下のクロロフィルa分布と力学的構造 ○伊藤大樹(水研機構)・清水勇吾(水研機構)・瀧藤聡(水研機構)・日下彰(水研機構)・安倍大介(水研機構)・日高清隆(水研機構)・廣江豊(水研機構)・児玉武稔(水研機構)</p>
9:30	<p>19F-05-3 北太平洋中緯度域において海洋中規模渦が表層クロロフィル濃度に与える影響の海域による違い ○藤田功(北大院水産)・武市あゆみ(北大院環境)・石山宙夢(北大院環境)・上野洋路(北大院水産)</p>
9:45	<p>19F-05-4 黒潮・対馬暖流の影響下にある東シナ海・日本沿岸の植物プランクトンとその地理的分布 山脇信博(長崎大学)・岡井英人(長崎大学)・桑野和可(長崎大学)・鈴木利一(長崎大学)・西田史朗(長崎大学)・合澤裕(長崎大学)・橋本成美(長崎大学)・保科草太(長崎大学)・木下宰(長崎大学)・得丸奈央(長崎大学)・竹宮宝(長崎大学)・八木光晴(長崎大学)</p>
10:00	<p>★座長 大石俊(名古屋大) 19F-05-5 亜熱帯反流に伴うサブメソスケール循環の経年から十年規模変動 ○佐々木英治(IAMSTEC)・野中正見(IAMSTEC)・笹井義一(IAMSTEC)</p>
10:15	<p>19F-05-6 Interannual and decadal velocity variations over the Kuroshio and the Kuroshio Extension ○Yuxiang Qiao(Graduate School of Fisheries, Kagoshima University), Hirohiko Nakamura(Faculty of Fisheries, Kagoshima University), Ayako Nishina(Faculty of Fisheries, Kagoshima University), Shinichiro Kako(Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)</p>
10:30	<p>19F-05-7 オイラー的手法によるオブダクション・サブダクション率の算出と海洋混合層への影響の評価 ○川合義美(海洋研究開発機構)</p>
10:45	<p>19F-05-8 混合層熱収支解析による北太平洋中央部における再出現過程のメカニズムの研究 ○村田孝学(東京大学大学院)・木戸昌一郎(東京大学大学院)・東塚知己(東京大学大学院)</p>
11:00	<p>★座長 東塚知己(東京大) 19F-05-9 日本海における対馬暖流と極前線の流路抽出 partII ○矢部いつか(東大大気海洋研)・川口悠介(東大大気海洋研)・和川拓(水研機構日水研)・藤尾伸三(東大大気海洋研)</p>
11:15	<p>19F-05-10 渦追跡アルゴリズム結果の補正とNatal Pulseの経年変動 ○山上通航(東京大学大気海洋研究所)・東塚知己(東京大学大学院理学系研究科)・Bo Qiu(ハワイ大学マノア校)</p>
11:30	<p>19F-05-11 温暖化に起因する北太平洋の熱吸収と海面水位変化 ○鈴木立郎(海洋研究開発機構)・建部洋晶(海洋研究開発機構)</p>
11:45	<p>19F-05-12 高解像度海洋大循環モデルにおける沿岸水位変動の潜在的予測可能性について ○中谷内太一(北海道大学大学院)・佐々木克徳(北海道大学理学院)・野中正見(IAMSTEC)・佐々木英治(IAMSTEC)</p>

開始時刻	第2会場(201+202号室)
	<p>19F-02 沿岸域の海洋循環と物質循環 田中 深(東大大海研)・森本 昭彦(愛媛大沿ゼ)・速水 祐一(佐賀大農)・一見和彦(香川大農)</p>
9:00	<p>★座長 田中深(東大大海研) 19F-02-1 秋季の沿岸親潮の流動構造とサブメソスケール擾乱の分離 ○唐木達郎(水研機構北水研)・黒田寛(水研機構北水研)・葛西広海(水研機構北水研)・谷内由貴子(水研機構北水研)</p>
9:15	<p>19F-02-2 海洋短波レーダを用いた津軽海峡東部における海面流速分布の季節変動の解析 ○安井智美(北大院水産)・阿部素人(北大院水産)・IAMSTECむつ研)・平澤享(北大院水産)・佐々木建一(IAMSTECむつ研)・脇田昌英(IAMSTECむつ研)</p>
9:30	<p>19F-02-3 宮城県女川湾における低塩分水の起源 大友美智子(東海大海洋)・高橋大介(東海大海洋)・五味泰史(東北大院農)・金子健司(福山大生命工学)・藤井豊展(東北大院農)</p>
9:45	<p>19F-02-4 福島県陸棚斜面面上における底層懸濁物質の連続モニタリング ○杉松宏一(水研機構西水研)・柳山秀樹(水研機構中央水研)・古市尚基(水研機構水工研)</p>
10:00	<p>★座長 高橋大介(東海大) 19F-02-5 茨城県から宮城県沖の海底近傍における懸濁粒子の現場観測 ○古市尚基(水研機構水産工学研究所)・柳山秀樹(水研機構中央水産研究所)・杉松宏一(水研機構西海区水産研究所)</p>
10:15	<p>19F-02-6 The Impact of Physical Phenomena to the Variation of Dissolved Oxygen in Tokyo Bay ○Sulardi Anom(Department of Ocean Science, Tokyo University of Marine Science and Technology)・Kitade Yujiro(Department of Ocean Science, Tokyo University of Marine Science and Technology)</p>
10:30	<p>19F-02-7 完新世の東京湾における潮汐変化とその要因 ○上原克人(九大応力研)・斎藤文紀(島根大汽水ゼ)</p>
10:45	<p>19F-02-8 相模湾沿岸域での栄養塩動態と植物プランクトン群集の応答 ○荒功一(日大生物資源)・島本章広(日大生物資源)・塩本明弘(東農大生物産業)</p>
11:00	<p>★座長 古市尚基(水研機構) 19F-02-9 駿河湾の熱塩収支 ---海洋大循環モデルOFESを用いた見直し--- ○植原重行(東海大海洋)・矢花武之(東海大海洋)・高橋大介(東海大海洋)・笹井義一(IAMSTEC)</p>
11:15	<p>19F-02-10 夏季の諫早湾における潮汐流の順圧/傾圧成分の分離 ○松藤千丈(九大院総理工)・堤英輔(東大大海研)・松野健(九大応力研)・遠藤貴洋(九大応力研)・千手智晴(九大応力研)</p>
11:30	<p>19F-02-11 有明海奥部におけるタイラギ生残と餌料環境の関係 ○速水祐一(佐賀大学)</p>
11:45	<p>19F-02-12 「しきさい」で観測された2018・2019年春-初夏の東シナ海における流れ藻 ○村上浩(AXA・EORC)</p>

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第3-4会場(203+204号室)	開始時刻	第5会場(特別会議室)
	<p>19F-03 極域・寒冷地の海洋環境変動に関する分野横断研究 漢那直也(北大北極域セ)・伊藤 優人(北大低温研)・柏瀬 陽彦(極地研)・ 立花 愛子(海洋大)・木村仁(JAMSTEC)</p> <p>★座長 木村仁(JAMSTEC)</p>		<p>19F-07 海洋酸性化と温暖化の生態系への影響評価 芳村 毅(北大)・藤井 賢彦(北大)・小笠 恒夫(水研機構)</p>
9:00	<p>19F-03-1* 近年のユーラシアの寒冷化に果たす北極海氷減少の影響 ○森正人(東京大学)・小坂優(東京大学)・渡部雅浩(東京大学)・中村尚(東京大学)・ 木本昌秀(東京大学)</p>		
9:30	<p>19F-03-2 ペーリング海における海水生産量の見積もり: アナディールポリニヤに着目し て ○大島慶一郎(北大低温研)・田丸直也(RESTEC)・柏瀬陽彦(国立極地研究所)・二橋 創平(苫小牧工業高等専門学校)・中田和輝(RESTEC)・岩本勉之(紋別市役所)</p>		
9:45	<p>19F-03-3 観測史上最小の海氷面積を記録した2018年のペーリング海峡で見られた特異な 春季ブルームについて ○菊池玄之介(北大院水産)・阿部泰人(北大院水産)・三瓶真(北大院水産)・平澤享 (北大院水産)</p>		
10:00	<p>19F-03-4 2017-2018年の北部ペーリング海における珪藻類休眠期細胞群集と海水分布の 関係 ○深井悠里(北大院水産)・松野孝平(北大院水産)・北大北極センター)・藤原周 (JAMSTEC)・山口篤(北大院水産)・北大北極センター)</p>	10:00	<p>19F-07-1 津軽暖流における海洋酸性化の進行 ○脇田昌英(海洋研究開発機構)・佐々木建一(海洋研究開発機構)・高田信(海洋研究 開発機構)・吉野順(東北環境科学サピス)・木元克典(海洋研究開発機構)・永野恵(海 洋研究開発機構)・田中雄大(東北水研)・奥西武(東北水研)・阿部泰人(北大院水産)・ 海洋研究開発機構)・渡邊修一(海洋研究開発機構)</p>
10:15	<p>10:15-10:30 (休憩) ★座長 立花愛子(海洋大)</p>	10:15	<p>19F-07-2 海洋酸性化によるサンゴ礁形成への影響 ○栗原晴子(琉球大学)・Judith Wouters(琉球大学)・安田直子(琉球大学)</p>
10:30	<p>19F-03-5 海水厚が海水面積の予測可能性に与える影響 ○小野純(海洋研究開発機構)・小室芳樹(海洋研究開発機構)・建部洋晶(海洋研究 開発機構)</p>	10:30	<p>19F-07-3 気候変動に伴う浅海生態系分布変化の予測 ○茂木博匡(海上・港湾・航空技術研究所)・柳田圭悟((株)サイエンスアンドテク ノロジー)・近藤桂一((株)サイエンスアンドテクノロジー)・森佑貴((株)サイエンス アンドテクノロジー)・井上智美(国立研究開発法人 国立環境研究所)・山野博哉(国 立環境研究所)・桑江朝比呂(海上・港湾・航空技術研究所)</p>
10:45	<p>19F-03-6 チャクテ海北東部陸棚縁部における太平洋起源水の移流 ○村松美穂(北大院水産)・上野洋路(北大院水産)・伊東素代(海洋研究開発機構)・渡 邊英嗣(海洋研究開発機構)・小野寺丈尚太郎(海洋研究開発機構)</p>	10:45	<p>19F-07-4 カタクチイワシの温暖化影響評価に向けて ○伊藤進一(東大大気海洋研)・米田道夫(水研機構瀬戸内水研)・中村政裕(水研機構 瀬戸内水研)・松山倫也(九大院農)・北野龍(水研機構開発セ)・郭農頌(東大大気海洋 研)・金子仁(東大大気海洋研)・北川貴士(東大大気海洋研)・高橋素光(水研機構西海 水研)・橋岡豪人(JAMSTEC)・松村義正(東大大気海洋研)</p>
11:00	<p>19F-03-7 次世代植物プランクトンモデルによる北極海の亜表層クロロフィル極大の再現 ○増田良帆(北大北極域セ)・平田貴文(北大北極域セ)・山中康裕(北大院地球環境)・ 中野英之(気象研究所)</p>	11:00	<p>19F-07-5 ワカメ養殖場における栄養塩濃度の将来予測 ○寛茂穂(水研機構東北水産研究所)・佐々木実紀(日本エヌ・ユー・エス (株))・西川史朗(JAMSTEC)・若松剛(ナンセン環境リモートセンシングセン ター)・石川洋一(JAMSTEC)・内記公明(岩手県内水面水産技術センター)・瀬川 毅 (岩手県水産技術センター)</p>
11:15	<p>19F-03-8 北極海におけるアイスアルジー基礎生産量のモデル間相互比較 ○渡邊英嗣(海洋研究開発機構)・Meibing Jin(アラスカ大)・Hakase Hayashida(ピク トリア大)・Jinlun Zhang(ワシントン大)・Nadja Steiner(カナダ海洋科学研究所)</p>	11:15	<p>19F-07-6 水温と二酸化炭素の変化が植物・微小動物プランクトン動態に及ぼす影響の評 価 ○杉江恒二(JAMSTEC RIGC)・平澤享(北大院水産)・西野茂人(JAMSTEC IACE)</p>
11:30	<p>19F-03-9 「みらい」2013年秋季北極航海(MR13-06航海)の定点観測点における溶存メ タンの時間変動 ○工藤久志(神戸大学大学院)・豊田栄(東京工業大学)・山田桂太(東京工業大学)・吉 田尚弘(東京工業大学)・小杉如央(気象研究所)・吉川久幸(北海道大学)・村田昌彦 (JAMSTEC)・西野茂人(JAMSTEC)</p>		
11:45	<p>19F-03-10 カービング氷河の融解に伴う海洋への鉄供給過程 ○漢那直也(北海道大学)・杉山慎(北海道大学)・深町康(北海道大学)・野村大樹(北 海道大学)・西岡純(北海道大学)</p>		

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第1会場(メインホール)	開始時刻	第2会場(201+202号室)
	<p>19F-05 中緯度海洋の果たす役割 佐々木 克徳(北大理)・東塚 知己(東大理)・杉本 周作(東北大)・大石 俊(名大)</p>		<p>19F-02 沿岸域の海洋循環と物質循環 田中 潔(東大大海研)・森本 昭彦(愛媛大治セ)・速水 祐一(佐賀大農)・一見 和彦(香川大農)</p>
	<p>★座長 小松謙介(三重大)</p>		<p>★座長 森本昭彦(愛媛大治セ)</p>
14:30	<p>19F-05-13* 北陸における初冬季の降水量の増加と熱帯インド洋の降水 ○安永数明(富山大学)・西井和晃(三重大学生物資源学部)</p>	14:30	<p>19F-02-13 RCP8.5シナリオに基づく瀬戸内海における海面水温・塩分の気候変動影響評価 ○吉成浩志(国立環境研究所)・中田聡史(国立環境研究所)・東博紀(国立環境研究所)</p>
14:45	<p>19F-05-14* 黒潮大蛇行が温帯低気圧中心近傍の強風へ及ぼす影響 ○平田英隆(立正大学)・川村隆一(九州大学)・野中正見(JAMSTEC)</p>	14:45	<p>19F-02-14 陸域から瀬戸内海への淡水・汚濁負荷流出の気候変動による将来変化 ○中田聡史(国立環境研究所)・東博紀(国立環境研究所)・吉成浩志(国立環境研究所)・秋山千亜紀(筑波大学)</p>
15:00	<p>19F-05-15 2018年7月の豪雨と猛暑への海面水温偏差の寄与 ○西井和晃(三重大学)・田口文明(富山大学)・中村尚(東京大学)</p>	15:00	<p>19F-02-15 2km高解像度現象海況システムを用いた紀伊水道における急潮の統計評価 ○広瀬成章(気象庁気象研究所)・碓氷典久(気象庁気象研究所)・坂本圭(気象庁気象研究所)・山中晋郎(気象庁気象研究所)・高野洋雄(気象庁気象研究所)</p>
15:15	<p>19F-05-16 平成27年9月1日に対馬で発生した集中豪雨の要因 ○真崎慶大(九州大学大学院)・趙寧(海洋研究開発機構)・広瀬直毅(九大応力研)</p>	15:15	<p>19F-02-16 瀬戸内海における水温の経年変動 ○嶋田早希(愛媛大理工)・郭新宇(愛媛大沿岸セ)・堤英輔(東大大気海洋研)</p>
15:30	<p>19F-05-17 黒潮統流十年規模変動に対する大気応答のモデル解像度依存性 ○田口 文明(富山大学)・西井 和晃(三重大学)・中村 尚(東京大学)</p>	15:30	<p>19F-02-17 若狭湾における夏季の底層低温化の発生過程 ○大西徹(福井県大・海洋生物資源)・兼田淳史(福井県大・海洋生物資源)・桂田慶裕(福井水試)・森本昭彦(愛媛大・CMES)・井桁庸介(水研機構日水研)</p>
15:45	<p>19F-05-18 対馬暖流第3分枝が強化する2017年の山陰大雪 ○小松謙介(三重大大学院)・立花義裕(三重大大学院)</p>	15:45	<p>19F-02-18 陸域からの栄養塩供給による富山湾の物質循環への影響 ○柴野良太(NPEC)・真野能(NEP)・郭新宇(愛媛大沿岸セ)・吉田尚都(NPEC)・高山勝巳(九大応力研)</p>
16:00	<p>19F-05-19 ベーリング海海水による北半球冬季大気場への影響 ○飯田瑞生(東北大学大学院)・杉本周作(東北大学大学院)・須賀利雄(東北大学大学院)</p>	16:00	<p>19F-02-19 ラドン・ラジウム同位体を用いた気仙沼舞根湾における地下水湧出量および栄養塩輸送量の評価 ○中島壽規(福井県大・海洋生物資源)・杉本亮(福井県大・海洋生物資源)・横山勝英(首都大学東京)・谷口真人(地球研)</p>
16:15	<p>19F-05-20 20世紀における東シナ海の海面水温上昇の季節依存性 ○佐々木克徳(北海道大学大学院)・梅田千智(北海道大学大学院)</p>	16:15	<p>19F-02-20 洪水時河川影響海域における流入懸濁物・物理過程の相互作用 ○干場康博(東大大海研)・松村義正(東大大海研)・羽角博康(東大大海研)・伊藤幸彦(東大大海研)・中田聡史(国立環境研)</p>
16:30	<p>総合討論</p>	16:30	<p>19F-02-21 九州の河川海洋一体型モデルの開発 ○堤隆浩(九大総理工)・木田新一郎(九大応力研)・黒木龍亮(京大思修館)・山敷廣亮(京大思修館)</p>
		16:45	<p>19F-02-22 粒子追跡による三陸リアス湾間の水交換の推定 ○松村義正(東大大気海洋研)・桂将太(東大大気海洋研)・Scrips Institute of Oceanography)・田中潔(東大大気海洋研)・伊藤幸彦(東大大気海洋研)・田中裕介(JAMSTEC)・羽角博康(東大大気海洋研)</p>
		17:00	<p>19F-02-23 ドローン搭載赤外カメラによる沿岸フロント観測技術の開発 ○荒木寛太(九大・総理工)・木田新一郎(九大応力研)・磯辺篤彦(九大応力研)</p>
		17:15	<p>19F-02-24 海洋プラスチックの劣化と細片化に関する実験的研究 ○山口祐成(九大総理工)・磯辺篤彦(九大応力研)</p>

下線付き発表ID: 若手賞選考対象者 アスタリスク付き発表ID: 招待講演者

開始時刻	第3-4会場(203+204号室)	開始時刻	第5会場(特別会議室)
	<p>19F-03 極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究 漢那直也(北大北極域セ)・伊藤 優人(北大低温研)・柏瀬 陽彦(極地研)・ 立花 愛子(海洋大)・木村 仁(JAMSTEC)</p> <p>★座長 伊藤優人(北大低温研)</p>		<p>19F-14 海洋科学総合 プログラム編成委員会</p> <p>★座長 堀川恵司(富山大学)</p>
14:30	<p><u>19F-03-11</u> 酸素センサー付フロートからわかるオホーツク海での海水融解と春季ブルームの関係 ○岸紗智子(北海道大学環境科学院)・大島慶一郎(北大低温研)・一色倫聡(北海道大学環境科学院)・二橋創平(苫小牧工業高等専門学校)・Stephen C. Riser(univ. Washington)</p>	14:30	<p>19F-14-1 ドローンを用いた海岸漂着ごみ定量化手法の構築 ○森田翔平(鹿大院)・種田哲也(鹿大院理工)・加古真一郎(鹿大院理工)</p>
14:45	<p><u>19F-03-12</u> Photosynthesis and growth of ice algae can be suppressed during ice melt ○Dong Yan(Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University)・Jun Nishioka(Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University)・Masato Ito(Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University)・Takenobu Toyota(Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University)・Koji Suzuki(Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University; Faculty of Environmental Earth Science, Hokkaido University)</p>	14:45	<p>19F-14-2 海洋生態系モデルにおける植物プランクトンの栄養塩制限の再考察 ○橋岡豪人(海洋研究開発機構)・野口真希(海洋研究開発機構)</p>
15:00	<p>19F-03-13 サハリン沖係留観測に基づく高精度なAMSR-E薄氷厚アルゴリズムの開発 ○柏瀬陽彦(国立極地研究所)・大島慶一郎(北大低温研)・深町康(北大北極域セ)・二橋創平(苫小牧工業高等専門学校)・田村岳史(国立極地研究所)</p>	15:00	<p>19F-14-3 台風時における河川前面の放射性セシウムの挙動把握 ○御園生敏治(日本原子力研究開発機構)・鶴田志彦(日本原子力研究開発機構)・中西貴宏(日本原子力研究開発機構)</p>
15:15	<p>19F-03-14 トッテン棚氷近傍海域における暖水分布 ○平野大輔(北大低温研)・田村岳史(極地研)・清端浩平(海洋大)・伊藤優人(北大低温研)・山崎開平(北大低温研)・國府陽一郎(北大低温研)・木内政彰(北大院水産)・村瀬弘人(海洋大)・佐々木裕子(水研機構国際水研)・青木茂(北大低温研)</p>		
15:30	<p>19F-03-15 南極リュットォ・ホルム湾における海洋-氷床相互作用に関する数値モデリング ○草原和弥(海洋研究開発機構)・平野大輔(北大低温研)・藤井昌和(国立極地研究所)・Alexander Fraser(University of Tasmania)・田村岳史(国立極地研究所)</p>		
15:45	<p>15:45-16:00 (休憩)</p> <p>★座長 柏瀬陽彦(極地研)</p>		
16:00	<p>19F-03-16 オーストラリア-南極海盆中部域における南極底層水の経年変化 ○小林大洋(海洋研究開発機構)</p>		
16:15	<p><u>19F-03-17</u> 南大洋における人為起源と非人為起源のCO₂の10年変動 ○李勳豊(北大院地球環境)・潘先亮(北大院地球環境)・渡辺豊(北大院地球環境)</p>		
16:30	<p>19F-03-18 南極ケープダンレーポリニヤ域における植物プランクトンの秋季大増殖を伴う新成氷生成 ○伊藤優人(北大低温研)・平野大輔(北大低温研)・真壁竜介(国立極地研究所)・高橋啓伍(総合研究大学院大学)・大島慶一郎(北大低温研)・田村岳史(国立極地研究所)・青木茂(北大低温研)</p>		
16:45	<p><u>19F-03-19</u> 南大洋における時空間高分解能な海洋系外窒素の動態の見積り ○潘先亮(北大院地球環境)・李勳豊(北大院地球環境)・渡辺豊(北大院地球環境)</p>		
17:00	<p>19F-03-20 ハイブリッドpHセンサーの極域係留観測への対応 ○中野善之(海洋研究開発機構)・吉田弘(海洋研究開発機構)</p>		
17:15	<p>19F-03-21 南北両半球における海氷の履歴情報マッピング ○木村訓明(東京大学)・羽角博康(東京大学)</p>		
17:30	<p>総合討論 漢那直也(北大北極センター)</p>		

ポスターセッション

ポスター会場 3Fホワイエ

掲示期間 9月26日 11:00~9月28日 16:00

立ち合い説明 9月26日 13:00~14:30

(セッション19F-01, 19F-06, 19F-08, 19F-11)

9月27日13:00~14:30

(セッション19F-02(P1-P5), 19F-04, 19F-05(P1-P5), 19F-9(P5-6),19F-10, 19F-12, 19F-13)

9月28日13:00~14:30

(セッション19F-02(P6-P11), 19F-03, 19F-05(P6-P10),19F-07, 19F-09(P1-4), 19F-14)

下線付き発表ID:若手賞選考対象者

9月26日

19F-01	熱帯の物理・化学・生物
19F-01-P1	CMIP6における火山噴火強制に対するENSOの応答 ○大庭雅道(電力中央研究所)
<u>19F-01-P2</u>	How does the air-sea coupling frequency affect the convection during the MJO passage? ○趙寧(海洋研究開発機構)・那須野智江(海洋研究開発機構)
19F-01-P3	大気-海洋-生態系結合モデルを用いた台風停滞に伴う生態系応答の再現 ○伊藤耕介(琉球大学)・坂本圭(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)
19F-01-P4	インド洋北部における将来の溶存酸素濃度変動 ○重光雅仁(海洋研究開発機構)・山本彬友(海洋研究開発機構)・岡頭(東京大学)
19F-06	海洋と大気の大気力学
19F-06-P1	異なる海上風データ(NCEP及びQSCAT)で駆動したOFS結果の再現性の検証 ○福永広重(東海大学大学院)・替田邦夫(東海大学)・垣内陽(東海大学)・佐々木英治(JAMSTEC)・笹井義一(JAMSTEC)
19F-06-P2	アンサンブル実験に基づく黒潮流路の多峰性に関する考察 ○青木邦弘(JAMSTEC)・宮澤泰正(JAMSTEC)・日原勉(JAMSTEC)・美山透(JAMSTEC)
19F-06-P3	Philippines-Taiwan Oscillations and its connection to tropical cyclone frequency ○張育綾(JAMSTEC)・宮澤泰正(JAMSTEC)・小平翼(東京大学)・Swadhin Behera(JAMSTEC)
19F-06-P4	音波伝搬時間から得られた広島湾北部の風による流速変動 ○谷口直和(広島大学大学院工学研究科)・作野裕司(広島大学大学院工学研究科)・陸田秀実(広島大学大学院工学研究科)
19F-06-P5	和歌山県沖の海洋レーダによる波浪長期観測の初期解析 ○久木幸治(琉球大学)・片岡智哉(東京理科大学)
<u>19F-06-P6</u>	東シナ海の黒潮流軸上における海面高度偏差の伝搬特性 ○加瀬有理(名古屋大学大学院環境学研究科)・相木秀則(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
19F-08	海洋における微量元素・同位体の生物地球化学 (SCOR-GEOTRACESジョイントセッション・英語セッション) Biogeochemistry of trace elements and isotopes in the ocean: from GEOSECS to GEOTRACES (SCOR-GEOTRACES Joint English Session)
<u>19F-08-P1</u>	The change of material flux via SGD and its impact on coastal ocean ○片境紗希(富山大学大学院理工学教育部)・張勁(富山大学大学院理工学研究部)・鈴木麻衣(富山大学大学院理工学教育部)・浅井和見(株式会社地球科学研究所)・野嶋航太(富山大学大学院理工学教育部)
19F-08-P2	Transport of the upper Kuroshio Intermediate Water from northwestern Pacific to the Sea of Japan: using ¹³⁷ Cs as a tracer ○ZhuSiteng(富山大学大学院)・Jing Zhang(富山大学大学院)・Shota Kambayashi(富山大学大学院)・Takeshi Matsuno(九大応力研)・Eisuke Tsutsumi(九大応力研)・Shigenobu Takeda(長崎大)
<u>19F-08-P3</u>	Significance of Fukushima-derived radiocesium flux via river-estuary-coastal ocean system ○Shota Kambayashi(Graduate School of Sci. and Eng., Univ. of Toyama)・Jing Zhang(Graduate School of Sci. and Eng., Univ. of Toyama)・Hisashi Narita(School of Marine Sci. and Tech., Tokai Univ.)
<u>19F-08-P4</u>	Atmospheric Nitrogen Deposition on The Sub-Tropic NWPO and Its Impact ○Tadateru Noguchi(University of Toyama)・Jing Zhang(University of Toyama)・Wenkai Guan(Ocean University of China)・Bingzhang Chen(JAMSTEC)・Meixun Zhao(Ocean University of China)・Yuanli Zhu(Nagoya University)・Joji Ishizaka(Nagoya University)・Takeshi Matsuno(Kyusyu University)・Ichiro Yasuda(The University of Tokyo)
19F-08-P5	Cu-binding organic ligands and dissolved organic matter in coastal waters ○Wiwit Wiwit(The University of Tokyo)・Hajime Obata(The University of Tokyo)・Kuo Hong Wong(The University of Tokyo)・Chia-Jung Lu(The University of Tokyo)・Hiroshi Ogawa(The University of Tokyo)・Hideki Fukuda(The University of Tokyo)
19F-08-P6	Factors affecting radiocesium concentration in sediment off Fukushima ○乙坂重嘉(東京大学)・鈴木崇史(原子力機構)・鶴田志彦(原子力機構)・御園生敏治(原子力機構)・三野義尚(名古屋大学)・石丸隆(東京海洋大学)・神田稯太(東京海洋大学)・鋤柄千穂(東京海洋大学)・伊藤友加里(東京海洋大学)・杉原奈央子(東京大学)・本多牧生(海洋研究開発機構)
19F-11	海洋物理一般

- 19F-11-P1 北太平洋西部低緯度域における深層の水溫-溶存酸素分布
○川上雄真(気象庁)・北村佳照(気象庁)・中野俊也(気象庁)
- 19F-11-P2 北海道南岸におけるmarine heatwavesの発生状況
○半澤卓(東北大学大学院)・境田太樹(東北大学大学院)
- 19F-11-P3 Deep Argoフロートの水溫・塩分データの精度
○佐藤佳奈子(JAMSTEC)・細田滋毅(JAMSTEC)・小林大洋(JAMSTEC)・増田周平(JAMSTEC)・平野瑞恵(JAMSTEC)
- 19F-11-P4 東北太平洋沿岸における底水溫の整備
○寛茂穂(水研機構 東北区水産研究所)・栗田豊(水研機構 東北区水産研究所)・柴田泰宙(水研機構 東北区水産研究所)・奥西武(水研機構 東北区水産研究所)
- 19F-11-P5 海上風日平均値に対する複数衛星利用の影響
○小泉あゆみ(東海大学大学院)・久保田雅久(東海大学海洋研究所)・轡田邦夫(東海大学海洋学部)・日原勉(海洋研究開発機構)・富田裕之(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
- 19F-11-P6 全球海上風応力格子データセットの相互比較
○八木雅文(東海大学大学院)・轡田邦夫(東海大海洋)
- 19F-11-P7 準全球高解像度海洋過去再現シミュレーションOFES2
○佐々木英治(JAMSTEC)・古恵亮(JAMSTEC)・木田新一郎(九大応力研)・相木秀則(名大-ISEE)・小守信正(JAMSTEC)・升本順夫(東大院理)・美山透(JAMSTEC)・野中正見(JAMSTEC)・笹井義一(JAMSTEC)・田口文明(富山大-都市デ)
- 19F-11-P8 気象研究所共用海洋モデル「MRI.COM」開発における部外との連携強化
○坂本圭(気象研究所)・山中吾郎(気象研究所)・中野英之(気象研究所)・浦川昇吾(気象研究所)・豊田隆寛(気象研究所)・辻野博之(気象研究所)
- 19F-11-P9 気象研究所地球システムモデル及び海洋モデルにおける南大洋海面過程と大西洋子午面循環の関係
○浦川昇吾(気象庁気象研究所)・辻野博之(気象庁気象研究所)・中野英之(気象庁気象研究所)・豊田隆寛(気象庁気象研究所)・坂本圭(気象庁気象研究所)・山中吾郎(気象庁気象研究所)
- 19F-11-P10 潮汐研究の歴史的発展と新地平—D.E.Cartwright "Tides, A Scientific History"—の紹介
○小田巻実(元海上保安庁)

9月27日

19F-02 沿岸域の海洋循環と物質循環

- 19F-02-P1 日本沿岸域海底下貯留CO₂の漏出を想定したパッシブトレーサーシミュレーション
○内本圭亮(二酸化炭素地中貯留技術研究組合/ (公財) 地球環境産業技術研究機構)・三角和弘((一財) 電力中央研究所)・坪野考樹((一財) 電力中央研究所)・津旨大輔((一財) 電力中央研究所)・薛自求(二酸化炭素地中貯留技術研究組合/ (公財) 地球環境産業技術研究機構)
- 19F-02-P2 ネスティング手法を用いた大槌湾における低次生産過程モデリング
○坂本天(東京大学大気海洋研究所)・浦川昇吾(気象庁気象研究所)・伊藤幸彦(東京大学大気海洋研究所)・羽角博康(東京大学大気海洋研究所)・田中潔(東京大学大気海洋研究所)
- 19F-02-P3 駿河湾奥における温度成層構造の時間変動
○中村美都(東海大学大学院)・植原量行(東海大学大学院)・小林憲一(静岡県水産技術研究所)・吉田彰(静岡県水産技術研究所)
- 19F-02-P4 伊勢湾のレーダ観測で得られた分層成分を用いたモデルパラメータ推定
○坪野考樹(一財) 電力中央研究所)・三角和弘(一財) 電力中央研究所)・津旨大輔(一財) 電力中央研究所)
- 19F-02-P5 若狭湾における成層期の栄養塩供給過程
○本間駿(福井県立大学大学院)・大西徹(福井県立大学大学院)・兼田淳史(福井県立大学)・杉本亮(福井県立大学)・片岡剛文(福井県立大学)・理塀隆人(福井県立大学)・山下慎也(福井県水産試験場)

19F-04 数ヶ月から数10年スケールの気候変動とその予測～海洋・海氷の役割～

- 19F-04-P1 ニンガルー・ニーニョ現象の長期変動
○田沼夏美(東京大学大学院)・森岡優志(JAMSTEC)・東塚知己(東京大学大学院)
- 19F-04-P2 全球大気海洋結合モデルCFESを用いた実験的季節予測システムの開発(III)
○小守信正(海洋研究開発機構)・田口文明(富山大学 都市デザイン学部)・吉田聡(京都大学 防災研究所)・土井威志(海洋研究開発機構)・野中正見(海洋研究開発機構)

19F-05 中緯度海洋の果たす役割

- 19F-05-P1 併合・分離する中規模渦の動態について
○松橋孝太郎(東海大学大学院)・植原量行(東海大海洋)
- 19F-05-P2 長江希釈水と九州周辺で発生する集中豪雨の関係
○加古真一郎(鹿大院理工)・高山勝巳(九大応力研)
- 19F-05-P3 日本近海海面水溫が降水に及ぼす影響
○飯塚聡(防災科学技術研究所)
- 19F-05-P4 水中グライダーによる東向きに移動する渦の直接観測
○遠山勝也(気象研究所)・小野恒(気象研究所)・小杉如央(気象研究所)・辻野博之(気象研究所)・石井雅男(気象研究所)
- 19F-05-P5 近年の東シナ海の温暖化傾向が平成29年7月九州北部豪雨へ及ぼす影響
○万田敦昌(三重大学大学院)・飯塚聡(防災科学技術研究所)・宮坂貴文(気象業務支援センター)・中村尚(東京大学先端研)

19F-09	海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題
19F-09-P5	海洋医療教育としてのICMM (Immediate Care of Marine Medicine)のデザイン ○橋本真由美(神奈川工科大学)・奈良唯唯子(神奈川工科大学)・奥寺敬(富山大学大学院)・若杉雅浩(富山大学大学院)・伊井みづ穂(富山大学大学院)・安田智美(富山大学大学院)
19F-09-P6	海洋医療即時対応ICMM研修における職種別受講者自己評価の検討 ○伊井みづ穂(富山大学大学院)・奥寺敬(富山大学大学院)・若杉雅浩(富山大学大学院)・安田智美(富山大学大学院)・奈良唯唯子(神奈川工科大学)・橋本真由美(神奈川工科大学)
19F-10	海洋中における乱流混合の実態とその役割 -表層から中・深層、底層まで-
19F-10-P1	波浪に伴う海面直下の3次元流速変動の高周波数観測 ○根田昌典(京都大学大学院理学研究科)・矢島啓(島根大学研究・学術情報機構)・市川香(九大応力研)・油布圭(九大応力研)・馬場康之(京都大学防災研究所)・水谷英朗(ハイドロ総合技術研究所)・久保輝広(京都大学防災研究所)・小松幸生(東京大学大気海洋研究所)
19F-12	海洋化学一般
<u>19F-12-P1</u>	東部インド洋における一酸化二窒素の分布と生成・消滅メカニズムの解明 ○寺嶋晃太郎(東京工業大学 物質理工学院)・豊田栄(東京工業大学 物質理工学院)・吉田尚弘(東京工業大学 物質理工学院)
19F-12-P2	海洋表層における溶存CH ₄ 濃度と炭素同位体比の連続観測 ○近藤文義(海上保安大学校)・登尾浩助(明治大学農学部)・小宮秀治郎(Max Planck Institute for Biogeochemistry)・石井佑磨(明治大学大学院農学研究科)
19F-12-P3	北太平洋表層栄養塩の季節・経年変動 ○安中さやか(JAMSTEC)・三寺史夫(北大低温研)・中岡慎一郎(国環研)・Frank Whitney(加IOS)
19F-13	海洋生物一般
19F-13-P1	日本南岸における黒潮流路と植物プランクトン分布の関係 ○亀田卓彦(水産研究・教育機構 中央水産研究所)・瀬藤聡(水産研究・教育機構 中央水産研究所)
19F-13-P2	東シナ海東部およびその周辺海域におけるトリコデスミウムの表層分布 ○得丸奈央(長崎大学)・鈴木利一(長崎大学)・筒井英人(長崎大学)・竹宮 宝(長崎大学)・守谷太介(長崎大学)・今村祐太(長崎大学)・八木光晴(長崎大学)・桑野和可(長崎大学)・保科草太(長崎大学)・楠本成美(長崎大学)・合澤格(長崎大学)・木下宰(長崎大学)
<u>19F-13-P3</u>	トカラ海域から四国沖におけるプランクトン群集構造、現存量および生産力の変化 ○数野真(鹿児島大学)・小針統(鹿児島大学)・金山健(鹿児島大学)・加留福太郎(鹿児島大学)・吉江直樹(愛媛大学)・長谷川大介(水研機構東北水研)・中村啓彦(鹿児島大学)
19F-13-P4	秋季の三陸沖におけるオキアミ類の分布特性 ○岡崎雄二(水研機構)・奥西武(水研機構)・長谷川大介(水研機構)・田中雄大(水研機構)
<u>19F-13-P5</u>	親潮域ポストブルーム期における大型カイアシ類の鉛直分布微細構造 ○大南あかり(東京大学大学院)・高野永実子(東京大学大学院)・陳思瑀(東京大学大学院)・岡崎雄二(東北区水産研究所)・寛茂穂(東北区水産研究所)・高橋一生(東京大学大学院)
<u>19F-13-P6</u>	海産窒素固定性シアノバクテリアにおけるリン酸ジエステル利用能 ○山口珠葉(水研機構 中央水産研究所)・佐藤光秀(長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科)・権田夏月(東京大学大学院農学生命科学研究科)・高橋一生(東京大学大学院農学生命科学研究科)・古谷研(創価大学工学研究科)
19F-13-P7	GCOM-Cデータを使った2018年瀬戸内海の赤潮判別の試み ○作野裕司(広島大学)・谷口直和(広島大学)・比嘉紘士(横浜国立大学)・小林拓(山梨大学)
9月28日	
19F-02	沿岸域の海洋循環と物質循環
19F-02-P6	舞鶴湾の養殖イワガキ浮遊幼生の動態 ○高橋暁(国研)産業技術総合研究所)
<u>19F-02-P7</u>	豊後水道の底入り潮の進入経路 ○前谷佳奈(愛媛大院理工)・森本昭彦(愛媛大沿岸セ)・郭新宇(愛媛大沿岸セ)・美山透(JAMSTEC)
19F-02-P8	有明海の持続性評価にむけた準備的研究～海苔養殖の考察 ○藤井直紀(佐賀大学)・金相暉(島根大学)・濱田孝治(株式会社シャトー海洋調査)
19F-02-P9	成層期における早崎瀬戸強流域周辺の衛星海面水温・クロロフィルa濃度 ○青木一弘(水産研究・教育機構)・岡崎誠(水産研究・教育機構)
19F-02-P10	機械学習を用いた沿岸海域における密度成層の変動に対する特徴量選択の試み ○金相暉(島根大学)・藤井直紀(佐賀大学)・濱田孝治(株式会社シャトー海洋調査)
19F-02-P11	九州北西岸におけるM ₂ 潮の経年変動について ○松浦浩巳(九州大学)・総合理工学府)・上原克人(九大応力研)・木田新一郎(九大応力研)・磯辺篤彦(九大応力研)
19F-03	極域・寒冷域の海洋環境変動に関する分野横断研究
19F-03-P1	ゲルセジメントトラップを用いた夏季南大洋インド洋区における沈降粒子組成の解析 ○佐野雅美(国立極地研究所)・山本あゆ(東京海洋大学)・影沢歩友子(総合研究大学院大学)・真壁竜介(国立極地研究所)・茂木正人(東京海洋大学)・小達恒夫(国立極地研究所)

- 19F-03-P2 2017/18年冬季の異常なチャクチ海の水氷減少が及ぼす異常な中高緯度大気循環への影響
○太田圭祐(三重大院生物資源)・立花義裕(三重大院生物資源)・安藤雄太(三重大院生物資源)
- 19F-03-P3 Envisat/RA-2およびICESat/GLASによる南大洋全域の海面力学高度
○溝端浩平(東京海洋大学)
- 19F-03-P4 ピンセネス湾沖(南大洋インド洋区)における夏季のサルパ*Salpa thompsoni*の摂餌生態
○田中藍子(東京海洋大学)・真壁竜介(国立極地研究所、東京海洋大学)・前田哲志(東京海洋大学)・茂木正人(東京海洋大学、国立極地研究所)
- 19F-03-P5 プロジェクト紹介:南大洋におけるハシボソミズナギドリの採食海域環境のモニタリング手法の確立
○茂木正人(東京海洋大学)・綿貫豊(北海道大学)・高橋邦夫(国立極地研究所)・溝端浩平(東京海洋大学)・立花愛子(東京海洋大学)
- 19F-03-P6 潮汐がラブレテフ海周辺の海水域に与える影響について
○佐伯立(東大大気海洋研)・羽角博康(東大大気海洋研)・川崎高雄(東大大気海洋研)・小室芳樹(海洋研究開発機構)・阿部泰人(北大水産)
- 19F-03-P7 多波長励起蛍光光度計による南大洋における植物プランクトン色素組成の評価
○高尾信太郎(環境研)・真壁竜介(極地研)・藤原周(JAMSTEC)・鈴木光次(北大院地球環境)
- 19F-05 中緯度海洋の果たす役割**
- 19F-05-P6 北太平洋西部亜寒帯におけるサブメソスケール現象の特性
○土橋稜(北海道大学大学院)・上野洋路(北海道大学大学院)・笹井義一(海洋研究開発機構)・佐々木英治(海洋研究開発機構)
- 19F-05-P7 北太平洋中高緯度域における水温逆転層が混合層熱収支に与える影響
○信太勇真(北海道大学大学院)・上野洋路(北海道大学大学院)・大原隆(北海道大学大学院)・谷平洋介(北海道大学大学院)・細田滋毅(JAMSTEC)
- 19F-05-P8 南極振動によって駆動される南半球中緯度SSTが及ぼす南北両半球間の遠隔影響
○杉原直樹(三重大学大学院生物資源学研究所)・立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究所)・安藤雄太(三重大学大学院生物資源学研究所)
- 19F-05-P9 日本の気温に影響を与える周辺の海面水温と大気循環の季節変化
○安藤雄太(三重大学大学院生物資源学研究所)・小木雅世(北海道大学)・立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究所)・山崎孝治(北海道大学)
- 19F-05-P10 黒潮小蛇行伝搬と四国沖暖水渦・遠州灘沖冷水渦の渦度変化
○平野雄也(東海大学大学院)・松橋孝太郎(東海大学大学院)・植原量行(東海大学)
- 19F-07 海洋酸性化と温暖化の生態系への影響評価**
- 19F-07-P1 北西部北太平洋における海洋表層二酸化炭素分圧季節性の長期傾向(II)
○石田明生(常葉大学)・中岡慎一郎(国立環境研究所)・野尻幸宏(弘前大学)
- 19F-07-P2 日本海表層CO₂分圧と大気海洋間CO₂フラックスの分布推定
○中岡慎一郎(国立環境研究所)・荒巻能史(国立環境研究所)・久保篤史(静岡大学)
- 19F-09 海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題**
- 19F-09-P1 『三陸の海の豊かさのひみつを探る』 宮城県気仙沼市の小学校における海洋教育の実践
○丹羽淑博(東大・海洋教育センター)・田口康大(東大・海洋教育センター)
- 19F-09-P2 科学技術館・海の特展 協力参加
○安中さやか(JAMSTEC)・東塚知己(東京大学)・伊藤進一(東京大学)
- 19F-09-P3 富山湾の魅力体験 親子船
○張勁(富山大学)・堀川恵司(富山大学)・野口忠輝(富山大学)・稲村修(魚津水族館)・不破光大(魚津水族館)・木村智晴(魚津水族館)・金森恵美(富山高等専門学校)・河合雅司(富山高等専門学校)・日本海学推進機構
- 19F-09-P4 「日本型海洋リテラシー」構築のための実践的研究プロジェクト
○加藤大貴(東京大学大学院)・丹羽淑博(東京大学大学院)・田口康大(東京大学大学院)・梶川萌(東京大学大学院)
- 19F-09-P5 海洋医療教育としてのICMM (Immediate Care of Marine Medicine)のデザイン
○橋本真由美(神奈川工科大学)・奈良唯唯子(神奈川工科大学)・奥寺敬(富山大学大学院)・若杉雅浩(富山大学大学院)・伊井みず穂(富山大学大学院)・安田智美(富山大学大学院)
- 19F-09-P6 海洋医療即時対応ICMM研修における職種別受講者自己評価の検討
○伊井みず穂(富山大学大学院)・奥寺敬(富山大学大学院)・若杉雅浩(富山大学大学院)・安田智美(富山大学大学院)・奈良唯唯子(神奈川工科大学)・橋本真由美(神奈川工科大学)
- 19F-14 海洋科学総合**
- 19F-14-P1 海洋状況表示システム「海しる」の運用開始
○馬場典夫(海上保安庁海洋情報部)・向江智江(海上保安庁海洋情報部)
- 19F-14-P2 超小型衛星RISESAT搭載の海洋観測カメラによる沿岸域観測
○齊藤誠一(北海道大学)・平田貴文(北海道大学)・Irene Alabia/(北海道大学)・平譚 享(北海道大学)・栗原純一(北海道大学)・高橋幸弘(北海道大学)・坂本祐二(東北大学)・東北大学)・藤田伸哉(東北大学)・羽生浩介(東北大学)・村田悠(東北大学)・Morokot Sakal(東北大学)